



三条南ロータリークラブ週報

Sanjo Minami Rotary Club

2024-25 クラブテーマ **親睦から始めよう**



2025. 3. 17

外部卓話

No.2518 No. 28



会長挨拶
三条南ロータリークラブ
会 長
永桶 俊一

本日は三条市長滝沢亮様、お忙しい中ようこそ
おいいただきありがとうございます。

毎年卓話をお願いして快くお引き受けして
いただき感謝申し上げます

そして米山奨学生ファンティチュナンさんは本
日が最後の例会出席になります。

本来であれば、懇親会を開き、フェアウェルパ
ーティーをしたかったのですが、2月末にコロナ
になってしまい、残念ながら開催できず、本日最
後の挨拶をいただくことになりました。

2020年に長岡技術科学大学の大学院工学研究
科5年一貫性博士課程に入り、2024年4月1日
から米山奨学生となり2年間南クラブに来てくれ
ました。

最初のころはナンさんの日本語はちょっとわか
らないところがありましたが、いまは日本語もす
ごく上手になり、いつもニコニコのナンさんとお
別れは寂しい限りです。

今後は高砂熱学工業という日本で空調設備
NO.1の企業に就職するとのことでした。

ODAなど海外の施設建設においても実績があ
り、また月面での水素・酸素の生成も取り組んで
おります。きっとナンさんのキャリアが活かせる
企業と思いますので、高砂熱学でスキルを磨き、
ベトナムに戻る際にはそのスキルを活かしてもら
いたいと思います。

ロータリー学友となったナンさんは、日本とベ
トナムの交流の懸け橋となってくれると信じてい
ます。いつか三条南クラブでベトナム旅行に行く
際は太田カウンセラーを筆頭にホーチミン市に行
くので案内してください。

- ◆本日の出席：38名中29名
- ◆先週までの通算出席率：88.20%
- ◆本日のお客様：三条市長滝沢亮様▷米山奨学生ファン
ティチュナンさん
- ◆先週までのメイクアップ：
▶3/15 PETS（会長エレクト研修セミナー）へ（ホテルイ
タリア軒）木村譲さん、加藤一芳さん
- ◆幹事報告 田中康之幹事
▶「市内8クラブ有志ゴルフ大会」開催のご案内
日時：2025年6月21日(土)OUT・IN 8:30 同時スタート▷
開催場所：下田城カントリー倶楽部▷競技方法：個人戦9ホ
ールペリア方式▷団体戦各クラブの個人成績(NET)上位3名
の合計▷表彰式・懇親会：開宴18時
会場：銭心亭 おゝ乃

ニコニコボックス

3/17 15,000円 本年度累計 510,000円

永桶会長「三条市長滝沢様、本日はありがとうございます。
ナンさん、米山記念奨学期間を終了しロータリー
学友となられました。おめでとうございます」

田中幹事「滝沢市長、本日はよろしくお祈いします。
ナンさんこれからも頑張ってください」

野崎さん「滝沢市長、本日はご指導宜しくお祈い致します」
荒澤さん、星野さん「ようこそ滝沢市長様。卓話楽しみに
しています」

太田さん「滝沢市長の卓話、楽しみにしております。
ナンさん、卒業おめでとう！」

田代さん、熊倉さん、石山さん
「滝沢市長、本日の卓話宜しくお祈いします。
ナンさん、終了おめでとうございます」

関さん「ナンさん、卒業おめでとうございます」

松崎さん「謹んで渡辺久晃先生のご冥福をお祈り致します。
ナンさん、身体に気をつけて頑張ってください」

渡辺(俊)さん「また寒くなってきました。皆さん風邪などに
気をつけてください」

銅冶さん、廣岡さん「BOXに協力します」

江花さん「滝沢市長今日はよろしくお祈いします。
ナンさんこれからも頑張ってください」

BOXにご協力ありがとうございました



国際ロータリー会長 ステファニー A. アーチック (米国)
第2560地区ガバナー 南雲 博文 (長岡)
第4分区ガバナー補佐 杉山 幸英 (三条)
会 長 永桶 俊一
幹 事 田中 康之
SAA 関 博市

事務局
〒955-8666 三条市町町 2-5-10
三条信用金庫本店内
TEL 0256-35-3477
FAX 0256-32-7095
E-mail info@sanjo-minami.jp
URL https://www.sanjo-minami.jp

外部卓話



「めざせ、地域の『採用力』アップ！」

三条市長 滝沢 亮 様

1 市立大学の学生が巣立ちます

3月22日、三条市立大学の第1期生がいよいよ社会に巣立ちます。卒業見込者70人のうち、就職希望者が61人、そのうち燕三条エリアの企業に就職予定の学生は9人となっています。

この9人という人数、みなさんはどのようにお感じでしょうか？ 十分多いと感じますでしょうか？ 少ないと感じますでしょうか？ それとも1期目としてはますますとお感じでしょうか？

今回、この1期目の学生たちの就職活動の情報を整理してみると、この地域でも採用力アップのためにまだまだやれることがあるとわかりました。次の3点をお伝えします。

① 動き出しを早く

今の大学3年生は、遅くとも夏休みになるとインターンシップを開始し、就職活動をスタートさせます。首都圏の企業はそれに合わせて採用スケジュールを組んでおります。私たちが政府の原則ルール（原則スケジュール）を丁寧に守っていたら乗り遅れてしまいます。

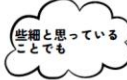
ここでいう「インターンシップ」とは三条市立大学の「産学連携実習」とは別物です。ですから、市立大学の学生たちが産学連携実習以外にも複数の企業と接触を持っている前提で、私たちが積極的に学生たちにアプローチをかけていく必要があります。

② 情報発信・情報提供の充実

首都圏企業は、就活支援サイト、就職支援システムでの企業情報の発信を充実させています。三条市立大学では就職支援システム「キャリアタスUC」を用いていますので、ぜひとも求人票の登録をお願いします。産学連携実習の提携先企業に限定されません。

今の若者は、コスパ、タイパ（コスト、タイム・パフォーマンス）意識が強く、2~3社だけしか就職活動をせず、内定をもらったらすぐに決める傾向があるとのこと。以前のように、何十社もから内定をもらったことをステータスにしません。ですから、学生たちに早くから注目してもらうためには、充実した情報発信が必須になります。

企業の皆様へ



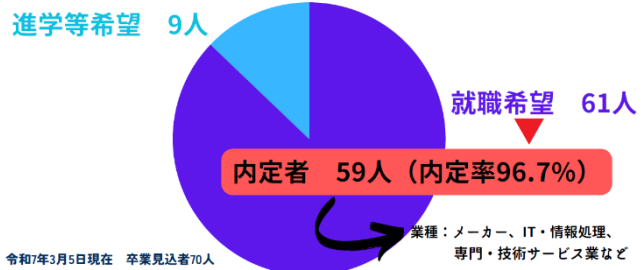
・自社の強み、自慢等は、遠慮せずにアピールしてください。

・市立大学が使用している就職支援システム「キャリアタスUC」へ求人票の登録をお願いします。

URL : <https://uc.career-tasu.jp/corp/>

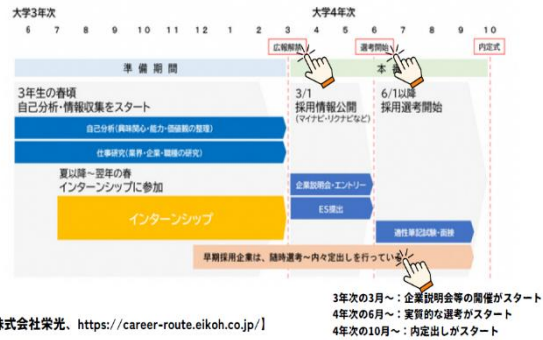


卒業予定者の希望する進路



就職活動の傾向

一般的な就職活動スケジュールの時期



一般的な内定の傾向

- ・政府が示しているスケジュールよりも、内定が出る時期は年々早まっている
- ・理系の学生と文系の学生の比較



理系学生の方が就活開始時期が早い傾向

令和5年卒、6年卒の学生の就職先の傾向

大学の所在地と志望する就職先

(調査対象者818人のうち、「その他」と回答した人は除く)

		就職エリア	
		都市	地方
大学エリア	都市	94.4	5.6
	地方	68.1	31.9

【出所：株式会社電通、https://dentsu-ho.com/articles/9055】

首都圏企業と地元企業の違い

企業の市立大学生へのアプローチ

首都圏企業は、

- ・採用に向けた動き出しが全体的に早い
- ・就活支援サイトなどでの企業のアピールが上手い(自社の強みを徹底的に紹介)

地元企業は、

- ・首都圏企業と比べても採用にかけるリソースの差はほとんどない
- ・首都圏企業と比べて、自社のアピールが控えめ?



学生のニーズ(市立大学生の場合)

- ・学生は給料や福利厚生など、自身の生活に影響する部分を気にしている
- ・就職先地域の決定に当たっては、「地元に戻って働きたい」「自分のやりたいことができる企業の所在地であった」といった理由が多い
- ・首都圏での就職に強いこだわりはない



③ 謙遜は通じない ~オンリーワンをアピール~

今の若者に対しては企業側の「うちは中小なんで」「零細なので」といった謙遜の美德は通じません。むしろマイナスです。

小さい会社であればこそ、そのメリットを強調してオンリーワンをアピールすることです。

「小さいけど〇〇の技術が光っているので、ぜひ若い人たちでさらに磨いてほしい」

「人数が少ない分、裁量が大きいからすぐに社会人として成長できるよ」

積極的にポジティブなアピールをしてください。

「オンリーワン」を強調しましょう。

三条市では、この地域の産業の持続可能性の前提となる人材確保のために、学校関係者と企業との交流会、専門学校での企業説明会、高校生の企業見学会などを行っています。

昨年からは「三条みらい人材会議」も開始して、地域全体として「人」への着目を深めています。ぜひともさまざまな機会にご参加をお願いします。また、三条市への要望がありましたらお申し付けください。

お元気で！ また会いましょう 米山奨学生 ファンティチュナンさん

皆さま、こんにちは。

本当に時間が経つのは早いですね。

私はこの2年間、三条南RCに奨学生として大変お世話になりました。心より感謝申し上げます。本日は、最後の例会に参加させていただき、感謝の気持ちをお伝えしたいと思います。

日本に来てからの時間は、私にとって学びと成長の連続でした。その背景には、ロータリー米山記念奨学金の支えがありました。この2年間、ロータリアンの皆さまのおかげで、経済的な心配をせずに研究に集中することができました。でも、それ以上にロータリーが私にくれたのは、「支え合うつながり」だったと思います。

例会に参加するたびに、皆さまから「研究は順調ですか?」「日本の生活には慣れましたか?」と温かい言葉をかけていただきました。そういう何気ない会話が、異国で暮らす私にとってどれほど励みになったかわかりません。特に、博士論文を書いているときは孤独を感じることもありました。ロータリアンの皆さまとお話することで「自分は一人じゃないんだな」と思えました。

そして、まず、歴代の会長の松崎会長、熊倉会長、そして現在の永桶会長、本当にありがとうございました！ 毎月の奨学金を支給してくださって…(ちょっと冗談ですが、笑)それだけでなく、いつも「頑張ってるね!」と励ましていただいて、本当に感謝しています。そして、宮口さん!この2年間、いろいろ助けていただいてありがとうございました!

さらに、カウンセラーの太田先生、そしてロータリアンの皆さまとの交流のおかげで、日本での生活がもっと楽しくなりました。



太田義人カウンセラー
2年間お疲れさまでした



一緒にご飯を食べたり、日本の文化を教えていただいたり、ときには人生のアドバイスまで…ね。皆さまが私をただの「留学生」ではなく、一人の家族のように迎えてくださったこと、本当にうれしかったです。

また、奉仕活動や卓話を通じて、「支援を受けるだけでなく、自分も社会に貢献することが大切なんだ」と学びました。地区大会の募金活動では、日本社会のあたたかさや助け合いの精神を感じることができましたし、卓話では自分の研究や母国のことを紹介する貴重な機会をいただきました。また、博士課程ももうすぐ終わります。この5年間を振り返ると、本当にたくさんのことを学び、大きく成長できたと感じています。もちろん、大変なこともありました。でも、それ以上に得たものが大きかったです。

そして、次のステップへ! 4月からは高砂熱学工業で働きます。研究とはまた違う環境ですが、ここで学んだことを活かして、新しい挑戦をしていきたいと思っています。それから、いつか私も次の世代の留学生を支える側になりたいです。今の私があるのは、ロータリアンの皆さまのおかげです。その恩を、これからの行動で返していきたいと思っています。

最後に、三条南RCの皆さま、本当にありがとうございました! この奨学金がなければ、私はこの貴重な経験を得ることはできませんでした。

これからも、皆さまから学んだことを大切にしながら、努力を続けていきます。

本当にありがとうございました!